

表彰者一覧

県大会で表彰された団体、個人は次のとおり。おめでとうございます。(敬称略)



栄えある受賞者を代表して授与

広島県知事表彰

【公衆衛生地区組織活動功労】

団体の部：栗原地区公衆衛生推進協議会(尾道市)
個人の部：上土井 柁、笠井 二郎、森本 武治、永尾 忠徳、長見 雅美(以上、広島市)、宮宗 弘光、村田 政雄(以上、福山市)

【健康増進栄養関係功労】

団体の部：西部厚生環境事務所・西部保健所管内地域活動栄養士会(西部保健所)
個人の部：日下 恵子(尾道市)

【母子保健活動功労】

個人の部：岡島 進(広島市)、白井 泉(広島県助産師会)

【歯科保健活動功労】

個人の部：荒川 信介、澤村 豊(以上、広島市)

【保健衛生生活活動優良地区】

大崎上島町公衆衛生推進協議会(大崎上島町)、向島地区公衆衛生推進協議会(尾道市)

【地区衛生組織活動功労者】

新枝 智司(府中町)、大谷 静子(海田町)、鈴木 延子(熊野町)、上野 史朗(坂町)、中野 文彦(江田島市)、土田 勇(竹原市)、梶原 泰文、河野 稔、山根 明(以上、廿日市市)、高嶋 郁夫(廿日市市大野)、川口 昭和、横山 賢治(以上、東広島市)、多留 見良春(世羅町)、眞神 田嘉英、濱本 登貴男、水越 弘(以上、尾道市)、高橋 實、小林 哲仁、中野 茂美、魚谷 泰三、立神 誠三、神原 賢之助(以上、福山市)、荒木 薫、下恒 太郎、戸田 清登、立田 大造(以上、府中市)、六戸 正昭、徳田 雅夫、小林 寛治(以上、三次市)、阪井 昌行、前山 薫、坪井 秀則、尾茂 田孝信(以上、呉市)

【地区衛生組織活動優良団体】

小国地区公衆衛生推進協議会(世羅町)、市地区公衆衛生推進協議会(尾道市)、因島地域公衆衛生組合連合会(尾道市)、宮原 5丁目自治会(呉市)

生きものの本が完成

当協会は、「広島身の近な生きものの意外な生態」(表紙左絵)を11月22日に発売しました。手にとって気軽に読める書籍で、ちょっとした会話の中で役立つ情報満載です。税抜き900円です。購入を希望される場合は、当協会までご連絡ください。(082-2093-1511 当協会 事業連携室)



うちエコ診断で家庭の省エネを

うちエコ診断は、8会場、およそ2000世帯が受診しました。環境省認定の公的資格を持つうちエコ診断士が、専用のソフトを用いて各家庭の暮らし方に合わせた省エネ・省CO2対策を提案する取り組みです。寒くなる季節に向けて、暖房器具の賢い選び方や、節水シャワーヘッドを利用した給湯の節約方法など、気軽に取り組める省エネ術を紹介し、我慢せずに生活の質を高めるアイ



42 役割と活動の共有

秋の事業が続々開催

環境づくり・健康づくりをPR

この秋、県内各地で環境や健康に関するイベントや組織づくりに関する事業が多数開催され、公衛協や地域協議会、当協会が、地域の環境保全、脱温暖化、健康づくりを発信しました。うちエコ診断や環境と健康のポスター標語コンクールの作品紹介、がん検診へ行こうキャンペーン、ウォーキング事業など様々な事業が実施されましたので、その中から、一部をご紹介します。

基礎研修と地域資源を考える

安芸太田町公衛協は、11月21日に推進委員研修会を開催しました。前半に基礎研修を受けない、公衛協の活動



基礎研修の前に挨拶する小田会長(上)、不法投棄のバトロール禁止を呼びかける看板の上には監視カメラが設置(左)



デアの数々に、受診者は興味深く耳を傾けていました。広島県は、家庭部門の温室効果ガス削減に向けて、高い意識で行動するためのきっかけづくりとして、うちエコ診断の受診を勧めています。今後も、イベント会場や公共施設で、うちエコ診断を実施する予定です。広島県在住者であればどなたでも受診できます。受診してみてください。



ポスター賞を受賞

第12回世界閉鎖性海域環境保全会議で開催された第12回世界閉鎖性海域環境保全会議が開催されました。環境保全課大道主任技師(写真左)が「2004年の台風18号による干潟生物への影響」と題してポスター発表を行い、ポスター賞を受賞しました。主催者を代表して化学・政策委員のオリ・ヴァリス氏(アールト大学大学教授)から賞状がわたされました。

基礎研修と地域資源を考える

歴史、ミッションを振り返りました。続いて、「豊かな森林で育つ地球に優しい自然のかけこみ」活気ある林業を目指して」と題し、太田川森林組合の取り組みをうかがい、木質チップ加工場やバイオマスボイラーを導入した施設の見学を行いました。安芸太田町では、林地残材の搬出とチップへの加工、バイオマスボイラーの熱源利用を行うエネルギーの地産地消事業に取り組んでおり、その取り組みの紹介と成果、課題などを学ぶと同時に、町内の山林で、切り捨てられている木の搬出をよびかけました。午後からは、役員が、不法投棄バトロールに出発し、住民から相談のあった林道やごみステーションの確認をし、今後の対策を協議しました。参加者からは、「町の財産である森を改めて町民で守らなければと改めて思った」「不法投棄が少なくなったのはこれまでの成果によるが、完全になくすため、一層の取り組みが必要」などの感想が聞かれました。引き続き、地域の課題解決に向けた協議と実践の継続で、町の環境と町民の健康を維持する取り組みに期待します。(地域支援課)